



子どものまち・いえ ワークショップ提案コンペ

次世代を担う子どもたちが建築を学ぶ機会をつくりたい。このような思いから、わたしたち日本建築学会子ども教育事業部会では、1991年からワークショップ「親と子の都市と建築講座」を継続的に開催し、30年以上となりました。当初は、大学の先生や地域の専門家等がワークショップを企画運営していましたが、近年では、学生の瑞々しい感性から生まれるアイデアに可能性を見出し、学生が企画を提案する「子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」を開催しています。本コンペの最優秀賞企画は、ワークショップ「親と子の都市と建築講座」として実現します。企画運営の主体は、最優秀賞に選ばれた学生の方々です。そのため、企画運営の実現可能性が問われます。コロナウィルス感染拡大防止への配慮をはじめ、社会状況の変化に対応できる実現可能な提案をお待ちしています。

応募フォームから、応募者情報を入力し、プレゼンシートをアップロードしてください。プレゼンシートは、A3判1枚（横使い）で、書式は自由です。

くわしくは裏面をご参照ください。

<https://forms.gle/4oj7uy63Ybpvt5oU9>



主催：日本建築学会

応募締切

7/26

フォーム登録

公開審査会

8/10

対面とオンライン
ハイブリッド開催

第13回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ 募集要項

【応募要項】

《応募対象》

- ① 1名以上からなる学生団体。(大学院・大学・専門学校等、ワークショップ経験有無は不問、円滑にワークショップ実施できる人数とすること)
- ② 代表者を1名選出し、事務局と連絡できる状況であること。

《応募方法・応募先》

以下の応募フォームから、応募者情報を入力し、プレゼンシートをアップロードすること。

<https://forms.gle/4oj7uy63Ybpvt5oU9>

1. 応募者情報の入力

- ① 代表者メールアドレス等
- ② チームメンバーの人数
- ③ チームメンバー全員の氏名
- ④ 公開審査会参加方法
- ⑤ 対面の場合の参加人数



2. プレゼンシートのアップロード

- ① プレゼンシートはA3判1枚(横使い)で、書式は自由。PDF形式とし、データ容量を5MB以内で作成すること。
- ② プレゼンシートには、1)企画タイトル、2)コンセプト、3)実施予定日時、4)実施予定場所、5)当日スケジュール、6)準備物・予算等のワークショップに必要な情報を記載すること。
- ③ プレゼンシートには、氏名や所属を記載しないこと。

《応募締切》

2024年7月26日(金)17時

《企画条件》

- ① テーマは特に絞らないが、「まち・いえ」(住環境)に関わる企画とする。
- ② 実施方法については、対面式での実施の提案も可とするが、社会情勢によってオンラインでの実施に変更できる提案とすること。企画段階からオンラインでの実施を想定した提案も可とする。
- ③ すでに主催者・団体が決定している企画については、主催者や団体名を記載すること。
- ④ 過去に実施された企画を応募する場合は、開催実績を記載すること。
- ⑤ 企画実施日は、2024年秋頃の土曜・日曜・祝日のいずれかの日程で行うこととし、審査会後に日程調整を行う。
- ⑥ 実際に行うことが決定したプログラムに対しては本会より上限10万円をワークショップ実施費用として用意する。予算には書類や道具の郵送料等も含む。なお、場合によっては、複数の企画に予算を分配して、採択する可能性がある。
- ⑦ ワークショップ実施にあたり、実行委員会を設立し、最優秀賞プログラムを軸に準備・運営を行う。実行委員会には子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会委員も参画し、実施に向けてサポート・アドバイスを行う。
- ⑧ 実施プログラムの著作権は、応募団体と子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会に帰属するものとする。

※最優秀賞作品およびコンペに応募された全作品と公開審査会当日の記録は、部会HP等に掲載し、公開する場合がありますので、ご了承ください。

《問い合わせ先》

日本建築学会事務局 担当:内野・富田 kodomo@aij.or.jp

【企画発表会・公開審査会】

「第13回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」の企画発表会・公開審査会を実施し、最優秀賞を決定する。
※応募数が著しく多い場合は、プレゼンシートにもとづき一次審査を行う場合があります。その場合には、全応募作品をHPで公開する等の発表の機会を設けます。
※当日の発表スケジュールやプレゼンテーションの時間等については、後日、応募代表者にご案内します。

《日 時》

2024年8月10日(土)13:00～

《場 所》

対面:建築会館ホール

(〒108-8414東京都港区芝5丁目26番20号)

オンライン:Zoomアドレスを後日お知らせします。

対面でもオンラインでも参加できます。

《審査委員》

- 審査委員長:手塚由比(建築家/手塚建築研究所代表)
OECD(経済協力開発機構)とUNESCOにより世界で最も優れた学校に選ばれた「ふじようちえん」を始めとして、子供の為の空間設計を多く手がける。UNESCO世界環境建築賞(Global Award for Sustainable Architecture)、日本建築学会賞、日本建築家協会賞、グッドデザイン金賞、こども環境学会賞など受賞多数。
- 中津秀之(関東学院大学建築・環境学部 准教授)
安全で創造的な子どもの遊び空間の研究をはじめ、設計実務・展示・ワークショップなどを通じて、生活環境・都市環境に提言を続けるランドスケープ・アーキテクト。
- 津川恵理(建築家/ALTEMY代表)
都市に身体性を生むような、神戸市サンキタ広場(2021)/渋谷公園通りデザインコンペ最優秀賞(2024)/まちの保育園南青山(2024)等を手掛ける。国土交通省都市景観大賞特別賞、土木学会デザイン賞優秀賞受賞など。
- 中高生審査委員
こども基本法第11条(こども施策に対するこども等の意見の反映)に則り、審査にこどもの意見を反映するため、中高生による審査を実現するよう準備しています。

《スケジュール》

- ① 2024年7月26日(金) 応募締め切り
- ② 2024年8月10日(土) 公開審査会
- ③ 2024年8月～秋頃 講座の企画・準備
- ④ 2024年度中 講座実施

《過去の最優秀賞作品の紹介》

部会のHPやfacebookにて、まちいえコンペの様子や各種イベントを発信しています。また、ワークショップの関連書籍も出版しています。ぜひご覧ください。

- ・<http://kodomo.aij.or.jp/>
- ・<https://www.facebook.com/machiiecompetition>
- ・<https://www.facebook.com/rakurakukenchiku>
- ・日本建築学会編:「楽々建築・楽々都市―“すまい・まち・地球”自分との関係を見つけるワークショップ―」、技報堂出版、2011